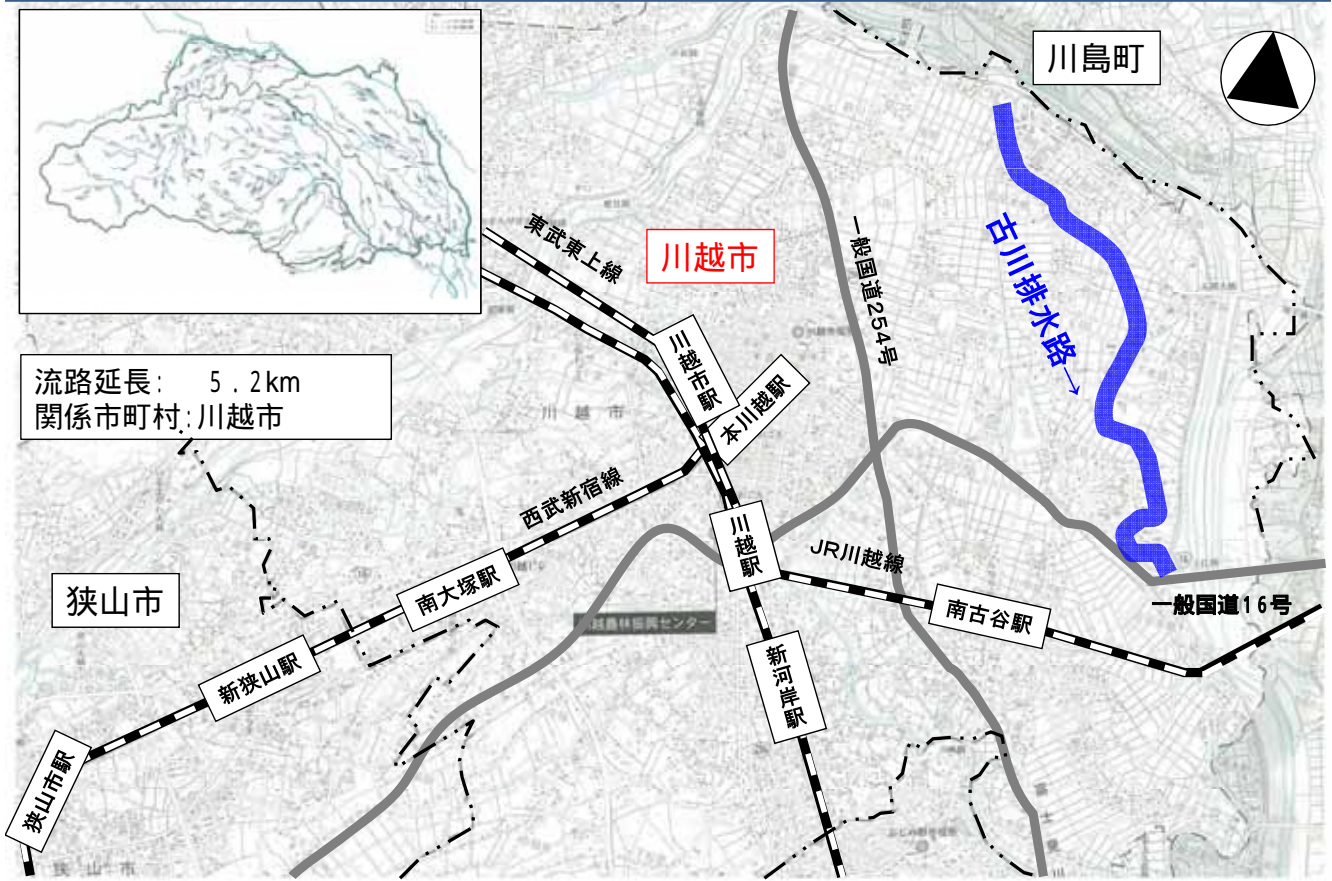


古川排水路の概要



川越市

良好な田園風景の保全と古川排水路等の自然環境再生を図るため事業を推進してまいります。

この取組みにより、自然とのふれあいの場・憩いの場が創出できるものと期待しております。

市町村域とまちづくり・川の関係(案内図)



まちづくり等の課題

河川や伊佐沼に代表される水辺、武蔵野の面影を残す雑木林等は優れた自然を有しているが、十分に活用できていない。

整備された伊佐沼や川越運動公園等は、拠点施設の整備であり、点から線への整備が求められている。

目標・テーマ

水・花・緑によるふれあい。
人と環境にやさしい、快適な基盤を備えたまち。

県に実施してほしい取組

川越市では、河川や伊佐沼に代表される水辺、武蔵野の面影を残す雑木林等の優れた自然が多く存在しています。そこで、水路や遊歩道を整備することにより、生物の生息空間、人々の安らぎの場、良好な都市景観の構成要素として都市の豊かさを支えることができます。

位置図



河川の現況



水路の整備、桜つみのイメージ

実施してほしい取組の概要

水辺再生事業として整備された伊佐沼や、川越運動公園等の核から線へ、遊歩道の整備

緑豊かな自然環境を感じられるよう、古川排水路に市民共有の憩いの場として活用できる親水護岸の整備

工程表

	H24	H25	H26	H27
親水護岸の整備	設計・400m	800m	800m	600m
遊歩道の整備			4,600m	1,600m

市町村が取組む事業等の概要(古川排水路地域)

様式 - 4

良好な水辺空間の再生を図るため、古川排水路沿道への「桜等の植樹」や散策しながら自然と触れ合う場としての「農村のさんぽ道」の整備を進め、市民共有の財産として保全・活用を図り、自然とともに生きるまちづくりを推進します。

位置図



事業等の概要

散策しながら自然と触れ合える場を、市民に提供します。伊佐沼などの水辺空間を活用した回遊ルートをつくり、「桜等の植樹」や「農村のさんぽ道」の整備を推進します。

工程表

	H24	H25	H26	H27
緑の整備	-	-	800m	-
案内看板整備	-	3箇所	-	3箇所

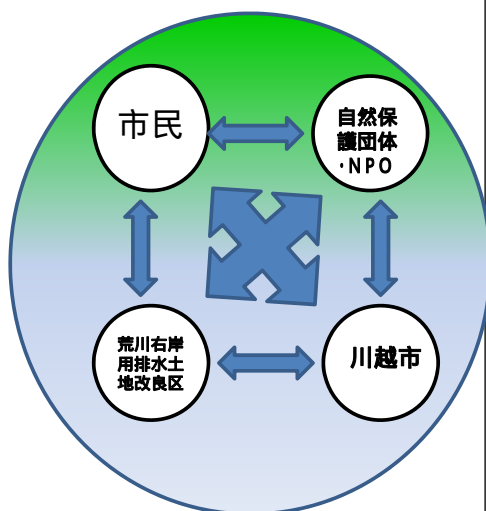
地域連携・維持管理等の概要

様式 - 5

水辺空間の整備は、河川管理者や市民、環境保護団体とともに検討してまいります。それぞれの活動、更に力を合わせた協働による維持管理こそ、より素晴らしい自然環境の保全が図られるものと考えます。

体制図

連携の強化



地域連携の概要

水辺空間は、市民共有の財産であり関係者間で広く意見交換して、整備計画を検討・推進してまいります。河川管理者が主体となる地域づくりを行い、整備される施設である「桜等の植樹」や「農村のさんぽ道」等の維持管理を行います。

取組全体のアピールポイント

本市では、第三次川越市総合計画において、将来都市像を市民との協働により「ひと、まち、未来、みんなでつくる いきいき川越」の実現を目指しています。

本取組は、各団体が自主的、積極的活動することにより、「人と自然がともに生きる、地球環境にやさしいまちづくり」を実践するものです。

伊佐沼周辺市民の多くは、農村環境の保全に対して、特に高い意識をもってまいります。